

『今日は、不二の祈りの話であったな。』

『講左衛門さん、おいらは、不二の祈りの話の前に、比叡山で行われている4年に1度の法華大会（ほっけだいえ）の話が聞きたいでまっすん。上原大阿闍梨様は法華大会のお役に当たられていたので、忙しかったと聞いているでまっすん。どのような行事でまっすん？』

『法華大会とは、天台宗随一の古儀なんじゃよ。4年に1度、10月1日からおよそ7日間、簡単に言ってしまうと、天台宗のお坊さんになるための最終試験のことを言うんじゃが、試験と聞くと筆記試験を思い浮かべるかもしれないが、法華大会は、問答形式なんじゃよ。法華経という教えを論じるんじゃ。この大会が古儀と言われる最大の理由は、平安時代に起源をもち、平安絵巻さながらの優美な極楽浄土が演出されていることなんじゃよ。今は、便利な時代だからのう、インターネットで検索すると、動画なども配信されておるぞ。この大会に、上原阿闍梨様は、お役が当たっていたんじゃよ。2日の夜中に比叡山から自坊に戻られて、早朝、自坊を出られて東円寺に起こしくださったんじゃよ。午後3時過ぎには、お帰りなられたんじゃ。4日も早朝比叡山に上がられたと聞いておるぞ。そのように、お時間を作って東円寺まで来てくださった阿闍梨様は、一人でも多くの悩みや苦しみを不動明王に祈願するためにお越しくくださったんじゃよ。本当に尊いお心なんじゃ。ありがたいな。』

『本当にありがたいことでまっすん。けれども残念だったのは、お参りくださる方が、昨年よりも少なかったことでまっすん。年に1度の特別な日でまっすん。来年は、多くの方がお参りくださるようお誘いするでまっすん。』

『そうじゃな。今年は、土曜日だったから多くの方がお参りくださると思っていたんじゃが、土曜日は、様々な行事が多く来られないという連絡も多かったんじゃよ。来年の課題じゃな。』

『でも、秋晴れだったでまっすん。心地良い風が吹いていて、心が洗われるようだったでまっすん。そういえば、不思議なことがあったでまっすん。東円寺の住職の声が朝はかすれていたけれど、阿闍梨様のお加持をうけた直後から、普段取りの声に戻っていたでまっすん。』

『そうじゃな。お加持を受けられた人の中には、痛みなどが消えた人もいるかもしれんな。さて、来週は、11月3日に東円寺で行われる「お会式」についての話をしようと思っておるぞ。』

『それは、とても楽しみでまっすん。』



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは案内責任者)

「富士山—信仰と芸術—」 山梨県立博物館

平成27年10月24日(土)～11月30日(月)

休館日 毎週火曜日(11月3日は開館) 11月4日(水)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定